

## 2019年度第3回霞ヶ浦自然観察会実施結果報告

「雪入川の上流と中流でいきものを探そう」を実施しました。

日 時：2019年6月15日（土曜日） 午前9時30分から午後2時35分まで

場 所：かすみがうら市雪入

参加者：17名

結 果： 数日前から天気予報では雨天になる予報で、前日にもキャンセルがたくさん出る状況でありました。当日は予報通り朝から雨になり、キャンセルや実施の問い合わせがありましたが、雨の状況を見て、内容を変更して実施することにしました。

センターを出発する時から雨が降っていましたが、降りが弱く風もないようなので、雪入の入口で、30分ぐらい梅雨の水田を観察することにしました。バスを降りて道路脇の雪入川を見て、雨で増水し予定の観察はできないことを確認し、水田に挟まれた道を観察しながら進みました。歩き始めて間もなく、子供はアマガエルを見つけ追いかけていました。水田を覗くとウキクサが浮かんでいたのも、網で採るとコウキクサの他にイチョウの形をしたシダ科のイチョウウキゴケがあり、みんなでこの面白い形を観察しました。近くの林の方で甲高い鳥の鳴き声がありました。ホトトギスです。さらに進むと、この雨で集まってきたように、たくさんのアマガエルがいて、子供たちは夢中で捕まえ始めました。その中に、アマガエルより少し大きい茶色のカエルがいました。今年産まれたアカガエルです。また、一人の子供は短い尾が残るカエルを見つけました。

水田を横断すると果樹園がありました。実を見て「ウメかな」との声がありました。しかし、ウメに似ていますが感じが違うので、何かとみんなで首をひねって眺めていたら、参加者の一人が熟して落ちている実を見つけ、匂いを嗅ぐとプラムのような感じでした。カキはもう小さな実をつけていました。ウメもありました。そろそろ30分が過ぎたので、同じ道をバスまで引き返しました。

バスで雪入ふれあいの里へ直接向かいました。ネイチャーセンターに入り、まず、展示場を見学しました。この近辺でみられるタヌキ、キツネ、ニホンリス、ハクビシンなどの小動物や、ノスリ、コゲラなどの鳥の剥製が展示してありました。子供たちは興味深く、剥製を一つ一つ見て回っていました。

午後には映像ホールに移動し、ヤマセミがヤマベを捕獲するなど、迫力のある3D映像を堪能しました。映像を見終わり、雨は午前中より降りが強くなったようなので、センターへ戻り、少し予定より早い時間でしたが、今日の観察会は終了にしました。

生憎の天候での観察会でしたが、参加された方はそれぞれ楽しんでいました。

(腰塚昭温)

次に観察会の様子を紹介します。



周囲の景色の観察



水田の観察



果樹園での観察



ネイチャーセンター展示を見学



イチョウウキゴケ



尾が付いているアカガエル